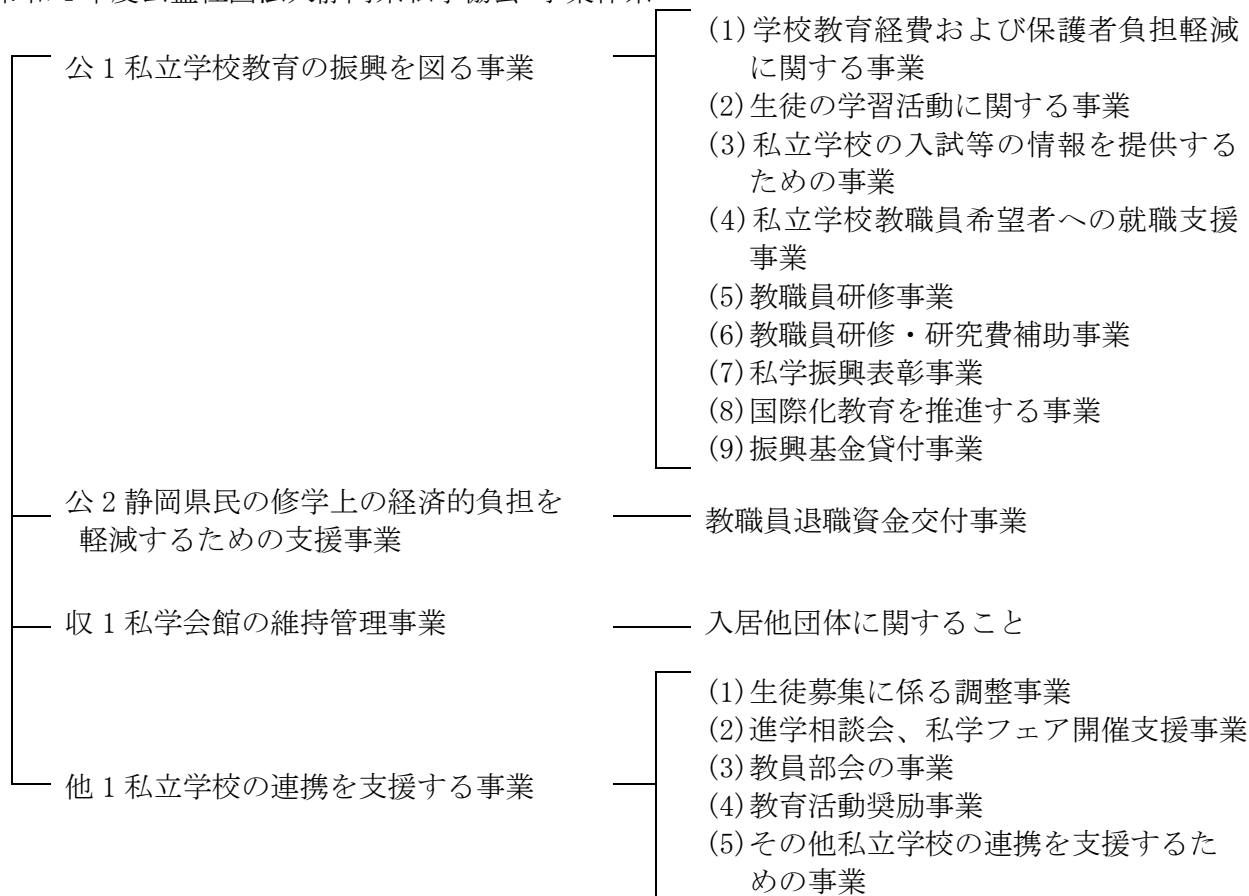


I 事業報告

私立小・中・高等学校は、公教育の一翼を担い、県内高校生 32,543 名(36%)、中学生 5,095 名(5%)、小学生 1,777 名(1%)が在籍しております。

本会は、私学教育の総合的な支援機関として、私立学校の教育環境、安全確保、教職員の資質向上等の私学振興事業を通して、私立学校教育の振興を図り、あわせて県民の修学上の経済的負担を軽減するための事業を引き続き展開しています。

令和4年度公益社団法人静岡県私学協会 事業体系



◇ 1 <私立学校教育の振興を図る事業>

1. 学校教育経費および保護者負担軽減に関する事業

県内私立小学校、中学校、高等学校が行政に求める公的支援に関する要望の調査及び関係する情報収集を行い、委員会等において公益及び公平の観点からの検討と具体的な要望の取りまとめを行い、要望書、陳情書等として静岡県並びに静岡県議会及び県選出国會議員等に届ける事業を行っている。

- (1) 会員校理事長・校長会における各学校の要望調査
- (2) 他都道府県の私学助成に関する情報収集
- (3) 補助金制度委員会及び運営役員会における要望内容の検討及び取りまとめ
- (4) 行政機関及び議会等への陳情及び要望(資料1)

・県内選出国會議員への陳情 令和4年8月9日(火)、11月8日(火)

・静岡県への陳情

令和4年11月16日(水) 静岡県私学保護者会、静岡県私立幼稚園振興協会及び静岡県職業教育振興会と合同で、静岡県知事、副知事、スポーツ・文化観光部長、政策推進担当部長、県議会議長、副議長、静岡県私学振興議員連盟に要望書を持って陳情をした。

また、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」において私立学校を対象とした支援が拡充されたことから、令和4年8月17日(水)に私立学校の光熱費等の補助を求めた要望書(資料9)を県知事に対して提出した。この結果、9月補正予算において「私立学校物価高騰対策支援金」が生徒ひとりあたり2,500円交付された。

(5) 私学振興ふじのくに大会の開催

令和4年11月16日(水)ホテルグランヒルズ静岡において、静岡県並びに静岡県議会の代表者13名を招き、本会、静岡県私学保護者会、一般社団法人静岡県私立幼稚園振興協会及び公益社団法人静岡県職業教育振興会の関係者約200名が出席して開催した。

令和4年度 私学振興ふじのくに大会次第

- 1 開 会
 - 2 開会のことば 静岡県私立幼稚園PTA連合会 会長 鈴木 涼 介
 - 3 主催団体代表挨拶
一般社団法人静岡県私立幼稚園振興協会 理事長 千葉 一 道
公益社団法人静岡県私学協会 理事長 仲田 晃 弘
公益社団法人静岡県職業教育振興会 会長 鈴木 啓 之
 - 4 祝 辞
静岡県副知事 出野 勉 様
静岡県議会議長 藪田 宏 行 様
 - 5 来賓紹介
 - 6 大会決議
静岡県私立幼稚園PTA連合会 副会長 岩 崎 稔
静岡県私学保護者会 副会長 松 井 宏 樹
- 来賓退席 —
- 7 県議会議員挨拶
 - 8 閉会のことば 静岡県私学保護者会 会長 藤 島 祥 人
 - 9 閉 会

大 会 決 議

静岡県は、誰もが努力すれば人生の夢を実現でき幸せを実感できる地域を目指して、富国
有徳の理想郷“ふじのくに”づくりを進めており、その中で、未来を拓く人材の養成、それ
を支える安心して子どもを産み育てられる環境整備などに取り組んでおります。本県の私立
学校も、これと軌を一にし、地域に根差した公の教育機関の一翼を担い、子どもたちの幸せ
と「有徳の人」づくりに努めてまいりました。

静岡県内には、現在、私立の幼稚園・認定こども園233園、小・中・高等学校75校、
専修・各種学校76校があります。それぞれが私学ならではの特色ある教育を推進し、着実
に地域で成果をあげながら、県民の期待と信頼に答えてきております。

しかしながら、出生数の減少に歯止めがかからず、将来にわたる就学人口の減少が予想さ
れ、また、教職員の人材確保難が長期化するなど、私学教育を取り巻く環境は厳しさを増し
ております。さらに、依然として新型コロナウイルスは収束の見通しが立たず、先行きへの
不透明感が拡大しております。

幼児教育の無償化や私立高等学校及び私立高等専修学校の授業料の実質無償化など、教
育・学習環境の充実の動きも見られますが、社会に希望と活力をもたらす地域の宝であり、
“ふじのくに”の未来を担うすべての子どもたちに質の高い教育を提供する地域社会の責務
を十分に果たすまでには至っておりません。

経常費助成の拡充はもとより、保護者の教育費負担軽減によって、子どもたちの個性や能
力に応じて、公私立学校の区別なく自由に学校選択ができるようにしていただくことが、全
ての保護者と学校関係者の願いであります。

私たち私立学校は、公教育の大きな担い手であって、静岡県の未来を拓く推進力であること
を、ここに強く訴えるとともに、次の事項を決議します。

令和4年11月16日

令和4年度は、国の私立高等学校就学支援金と静岡県の私立高等学校授業料減免制度の補助対象が拡充され、私立高等学校の授業料は、保護者の世帯収入が概ね700万円未満は全国平均授業料水準まで、同800万円未満は全国平均授業料の2分の1水準まで減免されました。

本会は本年度、この補助対象の更なる拡充と、私立学校経常費助成の補助単価及び総額の増額を重要な課題と位置付け事業を行いました。

この結果、令和5年度の県の私立高等学校授業料減免制度の2分の1補助の範囲が800万円から820万円に拡充され、この対象者が全体の82%となる見込みです。

また、令和5年度の私立学校経常費助成の児童・生徒一人当たりの補助単価は、以下の通りになります。

令和5年度私立高等学校等経常費助成児童・生徒ひとり当たり単価 単位:円

	国庫補助	地方交付税	県単独補助	合計
高等学校	57,927	296,100	40,100	394,127
中学校	50,701	295,400	9,400	355,501
小学校	49,104	295,400	10,400	354,904
通信制	17,498	63,490	1,900	82,888

(6) 委員会等における私学助成拡充の要望事項と検討

- ・補助金制度研究委員会の開催

第1回 令和4年9月22日(木)

関係資料

- ・静岡県私立高等学校等振興対策費補助等に関する要望(資料1)
- ・令和元年度～令和5年度静岡県私立学校関係予算額一覧(資料2)
- ・令和5年度県内私立高等学校(全日制)の就学支援金及び授業料減免制度資料(資料3)

2. 生徒の学習活動に関する事業

県内私立小学校、中学校及び高等学校の児童・生徒募集計画及びその結果、生徒募集環境、児童・生徒数の動向、入試に係る取り決めや枠組み、各校の児童生徒収容状況、他都道府県の生徒募集に係る情報等を調査、資料収集し、必要な分析等を行い、その結果を公表する事業を行っている。

- (1) 県内私立小・中・高等学校の生徒募集計画の取りまとめとホームページ等による公表
 - ・会員校の小学校・中学校・高等学校の令和5年度生徒募集計画を取りまとめ公表した。
「私立小学校の令和5年度児童募集一覧及び編入学情報」
「私立中学校の令和5年度生徒募集一覧」、8月に報道機関に情報提供
「私立高等学校の令和5年度生徒募集一覧」、11月に報道機関に情報提供
 - ・私立学校の募集計画に関する問い合わせ等に対応した。
- (2) 県内私立中学校・高等学校の生徒募集結果の取りまとめとホームページ等による公表
 - 「私立中学校の志願状況」、1月に報道機関に情報提供
「私立高等学校の志願状況」、2月に報道機関に情報提供
「私立学校の生徒募集結果及び入学状況」
 - ・これらに関する問い合わせ等に対応した。
- (3) 委員会等における入試結果等の検討分析
 - ・入試検討委員会の開催
第1回 令和4年4月21日(木)
第2回 令和4年7月22日(金)
第3回 令和4年12月22日(木)
- (4) 関係機関への提言
 - ・公立小・中学校校長会に対する要望や意見交換等を行った。

3. 私立学校の入試等の情報を提供するための事業

私立学校を選択する際に有用となる情報を提供し、その相談に応じ、必要な助言を行う事業を行っている。

- (1) 小学校、中学校等を通じた私立学校の教育の特色等を紹介する印刷物の配付
 - ・2023 静岡県の私立学校(冊子)印刷発行及び配布 3,600部

- (2) 小学校、中学校等を通じた私立学校の生徒募集情報一覧等の印刷物の配付
 - ・ 静岡県の私立中学校 2023(リーフレット)の印刷発行及び配布 12,000 部
 - ・ 2023 静岡県私立高校入試の手引き(リーフレット)の印刷発行及び配布 35,100 部
 - ・ 令和 5 年度静岡県私立小学校児童募集一覧の作成及び配布
 - ・ 令和 5 年度静岡県私立中学校生徒募集一覧の作成及び配布
 - ・ 令和 5 年度静岡県私立高等学校生徒募集一覧の作成及び配布
- (3) インターネット、新聞、テレビ等を媒体とした私学教育に関する共通情報の提供
 - ・ 私立学校の紹介、入試情報等をホームページで提供した。
 - ・ 私立学校が行う入試説明会、体験入学等の情報をホームページで提供した。
 - ・ 私学教育に関する新聞広告
- (4) インターネット、新聞、テレビ等を媒体とした私立学校の生徒募集及び志願状況等の情報提供
- (5) 学費に関する調査及び調査結果の情報提供
- (6) 電話、電子メール等による相談への対応
- (7) 県民が学校を選択する際に必要となる情報を報道機関、ホームページを活用して提供
- (8) 就学を支援する制度等に関する情報の提供
- (9) 広報委員会の開催
 - ・ 第 1 回 令和 4 年 5 月 12 日(木)

4. 私立学校教職員希望者への就職支援事業

県内私立学校の求人情報を公表し、その相談に応じ、教員希望者情報を取りまとめることにより、県内私立学校の教員確保に関する事務負担を軽減し、合わせて優秀な教員人材を確保するため、次の事業を行っている。

- (1) 私学教員適性検査事業
 - ・ 令和 4 年 8 月 28 日(日) 静岡大成中学校・高等学校において実施した。
 - 志願者 139 名、受検者 125 名、受検率 89.93%
 - ・ 受験者の登録情報を必要とする私立学校に提供した。
 - ・ この制度を周知する広報活動を行った。
- (2) 教員希望者への相談及び履歴書預かり事業
登録者 57 名 情報提供件数 617 件
- (3) 県内私立学校の求人情報をホームページで提供している
- (4) 私立学校への就職に関する相談に応じる業務を行っている
- (5) 総務委員会の開催 第 1 回 令和 4 年 4 月 20 日(水)

5. 教職員研修事業

- (1) 基本研修の実施 6 回 参加者(延)320 名

研修会名	実施日
新任教職員研修会	4 月 21 日
初任者研修会	7 月 26 日～7 月 27 日
5 年教員研修会	9 月 14 日～9 月 15 日
10 年教員研修会	6 月 14 日～6 月 15 日
リーダー研修会	11 月 17 日～11 月 18 日
特別支援教育研修会	感染症の懸念により中止
人権教育研修会	5 月 16 日

- (2) 専門部会(教科)研修の実施 9 回 参加者(延)201 人

研修会名	実施日
国語科	11 月 2 日(授業研・新任研)
地歴・公民科	①11 月 29 日(初任研) ②1 月 18 日(巡検)
数学科	12 月 1 日(授業研・新任研)

理 科	①8月2日(巡検) ②11月1日(新任研)
英 語 科	感染症の影響により中止
保 健 体 育 科	①4月26日(主任者会議) ②10月21日 ③11月18日(新任研)

(3) 専門部会(教科外)研修の実施 13回 参加者(延)365名

部会名	実施日
学校経営	9月29日
教 頭	11月4日
教育課程	第1回6月29日・第2回11月14日～11月15日(県外視察)・ 第3回11月22日
生徒指導	11月8日
学校教育相談	中止(県教育相談教育研究会主催の研修会に参加)
進路指導	10月21日
学校図書館	11月30日(研修会)・生徒読書感想文コンクール及びPOP コンクール、ビブリオバトル交流会を実施
初等教育	11月5日(関東地区私立小学校教員研修会に参加)
学校事務	10月7日(一般事務)
防災安全教育	11月21日 ※夏期研修会(救命講習)は感染症の影響により 中止
中学校教育	10月28日(県外視察)
I C T教育	10月7日(県外視察)・11月21日

(4) 県高等学校教育研究会との連携

学校図書館部会が公立学校教員への公開研修会を開催した。

本年度は、本会研修会への公立学校教員の参加実績はなかった。

(5) 会議の開催

・研修委員会の開催

教職員研修事業を推進するため、委員会を2回開催し次の事項の協議決定と研修会の企画実施にあたった。

ア. 研修事業の基本方針について

イ. 基本研修会の実施

ウ. 公的機関の主催する研修会等派遣費補助交付申請に対する審査決定

エ. 教科(6部会)及び教科外(12部会)の各専門部会の研修事業報告及び事業計画の承認

オ. 新型コロナウイルス対応

カ. 研修事業に関する諸規則の改正

第1回研修委員会 令和4年5月11日(水)

第2回研修委員会 令和4年12月8日(木)

・専門委員会等の開催

各部会が委員会を開催するなどして研修を企画した。

(6) 全国私学教育研究集会岐阜大会

全国私学教育研究集会岐阜大会に関係者が参加した。

6. 教職員研修・研究費補助事業

(1) 研究発表等奨励補助

公的機関の実施する研修会において、研究発表を行った者に対して補助金を交付した。
対象者2名

(2) 公的機関の主催する研修会等派遣費補助

県内私立小・中・高等学校の校長及び教職員が、文部科学省、静岡県教育委員会、私学研修福祉会、日本私学教育研究所等の公的機関の主催する研修会、研究会、講座会等へ参加した場合に派遣費の一部を補助し、私学教職員の資質向上に資する事業を実施した。補助件数 126 件

7. 私学振興表彰事業

(1) 私立小・中・高等学校の生徒を表彰する事業

・奨励賞 文化・体育表彰

文化活動・スポーツ等において特に優秀な成績を上げた者を表彰した。

団体 67 件 ダブルス 7 組 個人 110 人

・奨励賞 生徒・児童の一般表彰

在学中他の模範となった生徒を表彰した。

静岡県私学協会 理事長表彰 358 人

日本私立中学高等学校連合会 会長表彰 60 人

(2) 教職員を表彰する事業

・奨励賞 私学永年勤続教職員の表彰

20 年勤続 44 名 30 年勤続 35 名 35 年勤続 38 名

・奨励賞 優秀教員表彰

本県私学教育の振興に寄与し、その功績が顕著な教職員を表彰した 12 人

御殿場西高校 横山洋一、不二聖心女子学院高校 中山駿、知徳高校 鈴木圭子、静岡県富士見中高 光林誠、静岡学園中高 坂本裕之、静岡学園中高 小林由佳、浜松開誠館中高 藤原剛、浜松開誠館中高 カーター・オマール・クリントン、浜松学芸中高 原田豊治、浜松日体中高 石川貴士、浜松日体中高 橋爪佳美、聖隷クリスファー中高 富岡浩一郎

(3) 生徒及び教職員を表彰する事業

・奨励賞 福祉や奉仕活動の表彰

特に奨励に値する篤行があった児童・生徒及び教職員等を表彰した。

個人 1 人

焼津高等学校

・善行賞

顕著な善行があった児童・生徒及び教職員等を表彰した。

個人 6 人

藤枝明誠高校 2 人、常葉大学附属橘高校 1 人、聖隷クリスファー高校 3 人

(4) 審査及び表彰選考委員会の開催

・第 1 回書面選考委員会 令和 4 年 12 月 8 日(木)

・第 2 回書面選考委員会 令和 5 年 1 月 27 日(金)

・書面特別選考委員会 令和 5 年 1 月 30 日(月)

8. 国際化教育を推進する事業

(1) 海外との友好交流の受け入れ支援事業

海外の学校及び関係団体等からの交流や視察の希望に対して私立学校を紹介している。

(2) 教職員の海外への派遣交流事業

新型コロナウイルスの影響から事業を休止した。

9. 振興基金貸付事業

本会は、基金をもって、会員たる学校法人に対して、その設置する私立学校の施設又は設備整備のため必要とする資金及び私立学校地震対策緊急整備事業費補助を受けて校舎等を改築・耐震補強をするための資金の貸付け事業を行っている。

(1) 貸付実績

・借入れを希望した学校 1 法人に貸付を行った。(計 350,000,000 円)

・令和4年度末貸付残高 1,912,000,000円 (9学校法人)

(2) 償還及び利息納入の状況

本年度の貸付金の償還は、当初予定分と繰上償還1件分を含め258,500,000円が償還された。

本年度の振興基金受取利息として10,153,650円が納入された。

償還及び利息の納入は遅滞なく行われた。

(3) 基金造成状況

特定資産+流動資産

◎令和3年度末 基金資産残高2,375,023,474円 (2,314,710,000+60,313,474)

会員負担金 19,375,680円

貸付金利息 10,153,650円

特定資産運用利息(指定) 316,587円

基金普通預金利息 890円

特定資産運用利息(一般) 61,915円

事業経費支出 10,215,565円

(収入計) 19,789,022円

(支出計) 10,215,565円

(収入計) - (支出計) = 9,573,457円 ①

○令和3年度末の基金造成額 2,375,023,474円 ②

有価証券評価損益等 △10,119,700円 ③

◎令和4年度末までの基金資産残高 ①+②+③=2,384,596,931円

特定資産+流動資産(2,288,065,300+96,531,631)

◇ 2 <静岡県民の修学上の経済的負担を軽減するための支援事業>

1. 教職員退職資金交付事業

(1) 退職資金の交付事業

該当校	該当人数	交付額	備考
校	人	円	
42	171	1,171,968,018	1人平均交付額 6,853,614円
(1)	(1)	(19,051,200)	平均勤続年数 16.32年
			最高交付額 21,525,000円

※内、1校2名の平成29年度退職者を含む

※()内は死亡退職者数で、内数である。

(2) 退職基金事業会員加入状況及び負担金の納入状況

年度	会員数		該当学校				教職員数	
	学校法人	私学団体	小	中	高	養護	(月平均)	(延人数)
3	38	1	5	26	43	1	2,087人	25,044人
4	38	1	5	26	43	1	2,091人	25,099人

本年度納入された負担金総額は、825,621,390円。

(3) 教職員登録状況

年次	登録者数	教職員数			計	備考
		小・中・高	養護	私学団体		
3年度末登録者数		2,087人	10人	5人	2,102人	内休職者26人
新規登録者数		177	1	1	179	
4年度退職者	退職資金交付者数	163	1	0	164	H29年度退職者2名含む
	退職金未交付者数	7	0	0	7	
	計	170	1	0	171	
4年度末登録者数		2,089	11	6	2,106	内休職者26人

(4) 基金造成状況

◎令和4年度末基金造成額

会員負担金	825,621,390円	退職資金	1,171,968,018円
特別負担金	2,233,440円	その他事業費(減価償却費除く)	28,557,640円
教職員登録料	89,500円	固定資産取得支出	2,280,000円
県補助金	268,000,000円	その他固定資産	0円
有価証券等利息	51,638,882円		
その他利息等	565円		
(収入計)	1,147,583,777円	(支出計)	1,202,805,658円

(収入計) - (支出計) = $\Delta 55,221,881$ 円..... ②

評価損益(差損△) $\Delta 160,104,100$ 円..... ③

○令和3年度末の基金造成額 4,395,388,876円..... ①

令和4年度当期収支差額 462,079円..... ④

◎令和4年度末までの基金造成額 ①+②+③-④ = 4,179,600,816円

(5) 退職金制度研究委員会の開催

- ・第1回 令和5年2月15日(水)
- ・第2回 令和5年3月24日(金)

高齢者雇用安定法の改正による会員校の定年延長に対応するため、退職資金交付制度の見直しの検討を行った。

(6) 資金運用委員会の開催

- ・第1回 令和4年6月22日(水)
- ・第2回 令和5年2月15日(水)

2. 基金の将来予測

ジャパン・ペンション・ナビゲーター(株)に業務委託し、財政再計算を行った。

◇ 収益事業

1. 私学会館維持管理事業

(1) 固定資産税の免除について

固定資産税の免除の申請を行った結果、今年度も引き続き免除された。

(2) 防災・管理について

「柵セコム」と委託契約し、防犯カメラを設置し体制を整えている。

消防設備の定期点検（年2回）を実施し、法令に基づき消防署の検査を実施した。

- (3) 会館の清掃
「㈱ランブル」と年間契約し、床清掃・窓ガラス清掃・エアコン清掃を定期的に実施するとともに毎日各階の清掃を行った。
- (4) エレベーターの保守点検
「㈱日立ビルシステム」と年間契約し、定期的に点検・整備を行った。
- (5) 電気の保安点検
中部電気保安協会と年間契約し、定期的に保守点検を行った。
- (6) 貯水槽の清掃
法定水質検査を含む貯水槽清掃及び消毒を行った。
- (7) 自動ドアの保安点検
「㈱ランブル」と年間契約し「ナブコシステム㈱」が定期点検を行った。
- (8) 光熱費高騰等の理由による経費増加の中で、今後の継続的な私学会館維持管理のため令和5年度に向けた会議室使用料の見直しを検討、決定した。

◇ 相互扶助事業

1. 生徒募集に係る調整事業

児童・生徒募集に係る公私立学校間の連携及び他教育機関と調整するための事業を行った。

- (1) 静岡県公私立高等学校協議会等への出席
静岡県公私立高等学校連絡会
第1回 令和4年7月25日(月)
第2回 令和4年10月13日(木)
静岡県公私立高等学校協議会
令和4年10月24日(月)
- (2) 公私立高等学校の収容計画に関する県教育委員会及び県私学振興課との連絡調整
- (3) 静岡県校長会との進路指導連絡会等の開催
東・中・西部地区別の進路指導連絡会
静岡県校長会進路指導委員会、公立小学校校長会との進路指導に関する連絡調整
- (4) 県内私立小学校、中学校及び高等学校の入試日程の決定及び入試に関する申し合わせ事項の決定
- (5) 他府県私立学校の生徒募集及び入試に関する状況調査及び連絡連携関係資料
 - ・公私立高等学校生徒受入れ計画(資料4)
 - ・令和5年度 私立中学校生徒募集に関する申し合わせ(資料5)
 - ・令和5年度 静岡県私立高等学校の入試等について(資料6)
 - ・令和5年度 静岡県私立中学校 生徒募集一覧(資料7)
 - ・令和5年度 静岡県私立高等学校 生徒募集一覧(資料8)

2. 進学相談会、私学フェア開催支援事業に対して支援する事業を行った

私立学校が地区別に開催する学校紹介のブース展示や相談会等を支援する事業を行った。

東部地区私立学校相談会	令和4年10月30日(日)	於:プラザヴェルデ
東部地区私立学校相談会	令和4年11月6日(日)	於:ふじさんめっせ
中部地区私立中学校フェア	令和4年6月25日(土)	於:グランシップ
中部地区私学展	令和4年9月25日(日)	於:グランシップ
西部地区中高一貫合同フェア	令和4年6月5日(日)	於:えんてつホール
西部地区私学合同フェア	令和4年11月23日(水・祝)	於:えんてつホール

3. 教員部会の事業

- (1) 教員部会全体会議 令和4年6月20日(月)
- (2) 県外視察研修(中止)
- (3) 役員会の書面開催 令和5年2月10日(金)
- (4) 静岡県私学協会の事業に対する協力
＜令和4年度 教員部会役員＞
部会長 福島通陽(静岡サレジオ)
副部会長 大場潤(加藤学園暁秀)、伊藤壮一(浜松学院)、鈴木和也(浜松日体)

4. 教育活動奨励事業

児童・生徒の教育活動を奨励する事業を行っています。

- (1) 私立中学生と高校生の料理レシピコンテスト
静岡県産の食材を使った料理レシピを募集し、審査の結果10件が優秀者として選ばれた。11月16日にホテルグランヒルズ静岡にて、このレシピをもとに調理された昼食会を開催、またレシピを紹介するパンフレットを作成した。
- (2) 第46回静岡県私学読書感想文コンクール
応募作品数155点 最優秀賞7点
- (3) POPコンクール2022
応募作品数51点 最優秀賞8点
- (4) 第73回静岡県私学音楽祭
9月19日 藤枝順心中学校・高等学校にて開催
- (5) 第65回静岡県私学生徒作品展
書道部門 8月18日～8月24日 しずぎんギャラリー四季(今年度をもって終了)
美術部門 2月24日～3月5日 静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター

5. その他私立学校の連携を支援するための事業

- (1) 役員等の功労表彰
- (2) 慶弔金、災害見舞金の支給
 - ① 慶弔金の給付
教職員(結婚祝金33人、病気見舞金2人、死亡弔慰金2人)
児童・生徒(死亡弔慰金2人)
 - ② 見舞金の給付
教職員(火災見舞金0人、水害見舞金4人)
児童・生徒(火災見舞金0人、水害見舞金54人)
- (3) 賠償責任保険等の団体保険に加入
学校管理下における事故による児童、生徒及び第三者への賠償責任を填補する保険の団体契約をしている。
保健引き受け先 損害保険ジャパン株式会社
掛金 児童・生徒一人当たり89円
保険期間 令和4年4月1日午後4時より令和5年4月1日午後4時まで
- (4) 他団体等との連携連絡
 - ① 静岡県私学振興議員連盟との連携
私学助成の拡充のための意見交換を行った。
＜参考＞ 静岡県私学振興議員連盟令和4年度役員
顧問 杉山盛雄、鈴木利幸、山田誠(令和5年2月まで)、林芳久仁
会長 植田徹
副会長 中沢公彦、四本康久、蓮池章平
幹事長 阿部卓也
事務局長 渡瀬典幸
 - ② 中央私学関係団体との連携
 - a) 全国私学振興会連合会、全国私学退職金団体連合会等との連携
・全国私学振興会連合会総会 令和4年7月14日(福岡県)

- ・全国私学振興会連合会中部近畿合同ブロック会議
令和4年9月15日(富山県)中止
 - ・全国私学振興会連合会事務職員研修会
令和4年11月25日(東京都)
 - ・全国私学退職金団体連合会総会 令和4年7月1日(東京都)
 - ・全国私学退職金団体連合会事務職員研修会 令和4年10月6日・7日(北海道)
 - ・中部9県私立中高協会会長会議 令和4年12月1日(石川県)
- b) 日本私立中学高等学校連合会
- ・常任理事会、評議員会、協会長・事務局長会議等に出席し情報収集を行った
 - ・各種調査の協力
 - ・私学助成の国庫補助制度の堅持と予算増額運動に積極的協力
 - ・全国生徒収容対策会議・全審連に協力
- c) 一般財団法人日本私学教育研究所
- ・各種調査の協力
 - ・研究会・研修会の案内、収録等の配布
- d) 日本私立小学校連合会
- ・全国規模で開催している研究会等に、本県の小学校からも積極的に参加している
- ③その他県内関係団体との連携

◇ 法人管理

- (1) 会員の状況
令和5年3月31日現在の会員 38 学校法人
- (2) 役員等 理事 15 名(理事長 1 名・常務理事 3 名) 監事 3 名
- (3) 会計監査人 静岡監査法人
- (4) 理事会及び総会の開催状況
- ・理事会 4 回
 - ・総会 2 回
 - ・監事監査会 1 回
- (5) 全国の関係諸団体との連携
- ・全国私学振興会連合会
 - ・全国私学退職金団体連合会
 - ・日本私立中学高等学校連合会
常任理事 仲田晃弘(理事長)
理事 石川佳彦(常務理事)
評議員 芦川清司()
評議員 吉永清貴()
監事 服部泰啓(理事)
 - ・一般財団法人日本私学教育研究所 評議員 服部 泰啓
 - ・日本私立小学校連合会
 - ・日本私立学校振興・共済事業団
 - ・全国高等学校長協会 理事 鈴木 啓之
 - ・全国普通科高等学校長協会 理事 鈴木 啓之
- (8) 県内関係団体との連携